

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉特論IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期 水曜3限	教室名	5校舎10階
担 当 教 員	吉川 恭子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
精神保健福祉士国家試験の合格を目標に、各科目の過去の問題や予想問題に実践的に取り組みながら、知識の定着と解法のコツを体得する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験70%、出席・平常点30%(出席・態度、時間内での小テスト)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜指示する。						
《授業外における学習方法》						
国家試験対策の参考書や問題集を用いての自己学習が必須である。学習したことの定着を図るために、授業内容を振り返りながら繰り返し学習すること。一つのことを深く掘り下げるのではなく、幅広く関連付けて覚えながら学習に臨むことが大切である。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験対策には、知識のインプットはもちろんテクニックも必要となる。したがって、新カリキュラム対策においても、過去の問題を参考に、配布プリントを活用し知識のインプットと実践を繰り返しながら、国家試験の独特の「くせ」に慣れ得点に繋げていけるように展開する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策のやり方を学ぶ。「医学概論」の重要ポイントについて学習し、理解する。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「医学概論」テキストに目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	①国家試験共通科目全体についての説明とガイダンス ②「医学概論」における重要ポイントの説明			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「医学概論」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「医学概論」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。小テスト対策学習を行う。	
		各コマにおける授業予定	「医学概論」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	「心理学と心理的支援」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「心理学と心理的支援」テキストに目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	「心理学と心理的支援」における重要ポイントの説明。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「心理学と心理的支援」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「心理学と心理的支援」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。小テスト対策学習を行う。	
		各コマにおける授業予定	「心理学と心理的支援」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	「社会福祉の原理と政策」の重要ポイントについて学習し、理解する。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「社会福祉の原理と政策」テキストに目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	「社会福祉の原理と政策」における重要ポイントの説明。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「社会福祉の原理と政策」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる①。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「社会福祉の原理と政策」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。
		各コマにおける授業予定	「社会福祉の原理と政策」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「社会福祉の原理と政策」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる②。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「社会福祉の原理と政策」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。小テスト対策学習を行う。
		各コマにおける授業予定	「社会福祉の原理と政策」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	「社会学と社会システム」の重要ポイントについて学習し、理解する。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「社会学と社会システム」テキストに目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「社会学と社会システム」における重要ポイントの説明。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「社会学と社会システム」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる①。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「社会学と社会システム」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。
		各コマにおける授業予定	「社会学と社会システム」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「社会学と社会システム」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる②。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「社会学と社会システム」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。
		各コマにおける授業予定	「社会学と社会システム」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	「ソーシャルワークの基盤と専門職」の重要ポイントについて学習し、理解する。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「ソーシャルワークの基盤と専門職」テキストに目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「ソーシャルワークの基盤と専門職」における重要ポイントの説明。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「ソーシャルワークの基盤と専門職」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「ソーシャルワークの基盤と専門職」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。
		各コマにおける授業予定	「ソーシャルワークの基盤と専門職」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	「ソーシャルワークの理論と方法」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「ソーシャルワークの理論と方法」テキストに目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「ソーシャルワークの理論と方法」における重要ポイントの説明。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の「ソーシャルワークの理論と方法」の重要ポイントの定着と過去の関連問題や模擬問題等を解くことができる。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	「ソーシャルワークの理論と方法」テキストに目を通しておくこと。前回までの復習をしっかりと行い、知識の定着を図る。小テスト対策学習を行う。
		各コマにおける授業予定	「ソーシャルワークの理論と方法」関連の過去問題・模擬問題等を活用し、実際に問題を解きながら知識の定着を図る。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期に行った範囲に関する国家試験の過去問題・模擬問題等を解くことができる。	科目に関連する過去問題プリント その他資料等	前期科目の総まとめと試験勉強を行う。
		各コマにおける授業予定	前期講義内容の総まとめ		